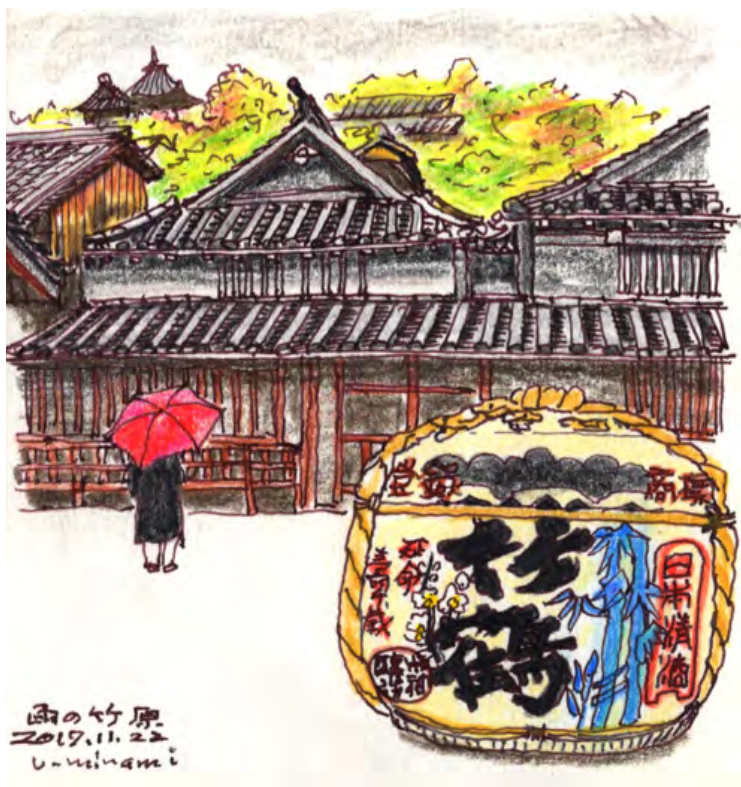


竹原 (ひろしまけん たけはら)

広島なら飛行機だけど空港が遠くて、とはいえ新幹線だと4時間掛かります。そこで空港方面にどこかよいブリージャースポットはないかと探せば、なんとNHK朝の連続ドラマ「マッサン」の舞台になった竹原があるではありませんか。竹原は空港に近いので、どうせ広島駅からバスで空港に向かう時間を考えれば、ついでに立ち寄る絶好のポジション。京都下鴨神社の荘園として栄え、「安芸の小京都」と呼ばれる竹原。江戸後期には製塩や酒造りで栄え、お屋敷やお寺のある街並が、今もそのまま保存されています。それは見事なもので住宅屋にとってはとても勉強になります。儒学者・頼山陽、マッサンことニッカウヰスキーの創業者であり、日本のウイスキーの父と知られる竹鶴政孝、高度経済成長時代に総理大臣となった池田勇人といった偉人を排出した街としても知られます。マッサンと池田勇人は忠海高校に通う先輩と後輩だったとか。さあ広島出張のついでに、ちょっと竹原に寄っていきましょう。



雨の竹原
2017.11.22
h.watanabe



西方寺から見下ろす瓦屋根の街並

ウイスキーとお屋敷に酔う 広島県竹原市

竹原駅前の観光案内所で地図をもらって歩き始めればなんと雨がポツリ。シャッター通りの商店街を抜けて5分もあるけば「道の駅」があって、。歴史保存地区。街並は一転して古い屋敷が現れ、路地は狭くて、そこにも重厚な建物が並んでいます。これはすごい…と迷路の中を彷徨い、広がりに出れば「時をかける少女」でお馴染の(覚えていないが)胡堂があって、そこからまっすぐにメイン通りが伸びています。そこにはお屋敷が群れており、竹原市歴史民俗資料館の庭にはマッサン夫妻の銅像が…その脇に「よいウキスキーづくりにトリックはない」という政孝の言葉が刻まれています。マッサンの竹鶴酒造は立派な蔵造り二棟。赤い傘の女性がスケッチにしっかりと映えました。高台にある西方寺の階段を上って普明閣に立てば街が一望。瓦屋根の織りなす美しい街並に涙が出るほど感動します。もちろんグルメも充実。お土産はもちろん「竹原の塩」。

広島駅から80分(空港手前)の「ついでの旅」



広島駅からJR呉線・竹原駅までは高速バスが便利です。広島駅南口Cホームの⑬番発で、朝だと8:34、9:14、10:14発(2018.4.月現在)で竹原駅まで1時間ちょっと。竹原駅から広島空港までは9人乗りのジャンボタクシー(安全タクシー)が午後なら15:50、17:15、19:45発。電話で予約しておかないと満席で乗れないことも…(☎0846-22-0842)。

竹原観光案内 <https://www.takeharakankou.jp>

